

RDAと目録の書誌的宇宙



参考文献

- 1) 『RDA』：図書館をセマンティック・ウェブ に適したものに. カレントアウェアネス CA1767 No.311 (2012.3)
(原著論文 Tillett, Barbara B. Keeping Libraries Relevant in the Semantic Web with RDA: Resource Description and Access. Serials. 2011, 24 (3) , p. 266-272)
- 2) 新しい知識と情報の組織化：RDAの理念と実践. RDA Workshop Tokyo 2013
(B.B.ティレット氏によるワークショップ 2013年9月5日・6日 学習院女子大学)

1

目次

1.目録規則が変わる（目録の世界観の変貌）

- ◆目録が変わる背景
- ◆RDAの目次構成（FRBRをベースとした概念モデル）
- ◆目録はどう変わるか/変わらないか：つながる目録に

2.RDAのメガネをかけてNACSIS-CATを見る

- ◆FRBRの概念との類似
- ◆リンク構造と変遷マップ

3.RDAの実装

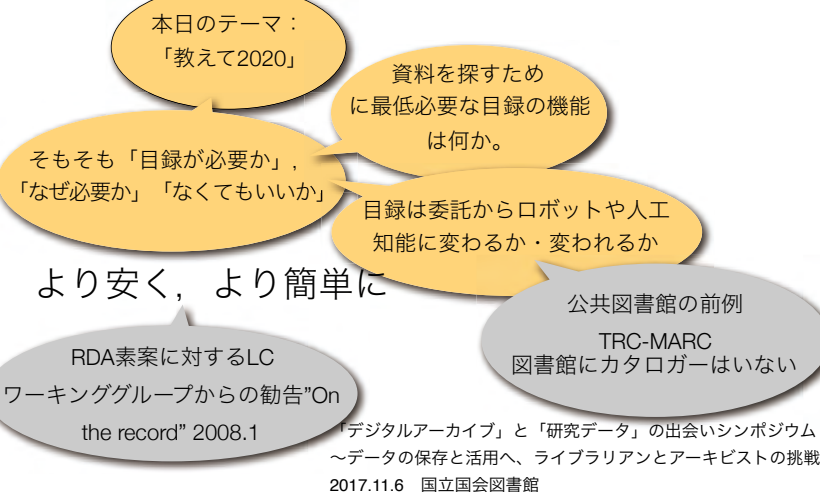
2



1.目録規則が変わる （目録の世界観の変貌）

3

なぜ変わらなければならないのか



4

書誌コントロール

識別・同定上必要な考え方

書誌単位と典拠コントロール



『児童文学』n号:ottRn&Sに発表。
賢治が亡くなってから他の作品も
入れた単行本が刊行される。
:宮沢賢治oAtti -ottRRS

日本児童文学館 8名著
復刻 第n集



人の目で見れば、
これは違うもの

ku-librarians勉強会 2014.7.31
甲斐 重武氏 (当時京都大学附属図書館 事務部長)
"NACSIS-CAT30年の価値"
1図書1書誌ID -ルーチン業務に埋もれた宝-

羽田書店otr o年刊
:nnnこれを所蔵し
ているところを探
している

書誌コントロール

CiNii Books“グスコブドリの伝記”で90件ヒット
NACSIS-CATが1書誌IDを維持しているので、私た
ちはこれが当たり前に見える

書誌単位

*2017.11.8.検索

『校本宮澤賢治全集』<BN01607904> CW
第10巻には「グスコブドリの伝記」,
第11巻には「グスコブドリの伝記」が採録

書誌コントロール

NDL サーチだと“グスコブドリの伝記”で
500件ヒット、本、児童書、デジタル資料に
限定すると488件

書誌単位

利用者はそんなに検索に
かける時間はない...

*2017.11.8.検索

書誌コントロール

OCLC WorldCatだと“グスコブドリの伝記”で
3,207件ヒット、書籍に限定すると807件、
著者を限定すると50件、でも...見つからない

膨大なデータから識別、
特定するには...

*2017.11.8.検索

書誌コントロール

識別・同定という考え方

書影・見た目で判断できるか

書誌単位



- ◆ 画像がない
- ◆ 同じ版で違う画像
- ◆ 同じ画像で異なるもの
- ◆ 販売元が異なる重複



Amazon
"グスコブドリの伝記"で68件ヒットしたが...

Kindle版
どちらも0円



DVDもアマゾンビデオも
映画のチラシもこの画像

9

RDA(2010.6)の背景 : B.ティレット氏

図書館に来なくても様々な
方法で資料を利用できる

「もし図書館を存続させるのであるならば、我々は図書館を利用者のニーズに合致したものにしなければならない。ますます多くのサービスがウェブ上に存在するようになり、情報資源に関して必要なものは全てウェブ上にあると多くの人が期待している。」¹⁾ 序文

天動説から地動説へ

AACR2の限界

10

RDA(2010.6)の背景 : 何故AACR3ではないか？

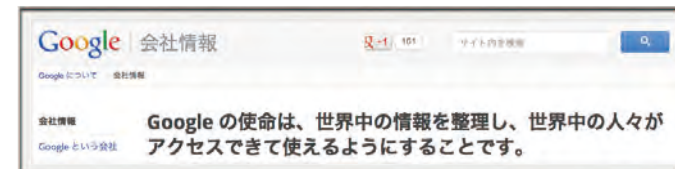
1. **Anglo American** → 国際化(インターネットの普及でAnglo Americanという意味がなくなった。既に60か国以上で使われていた。多言語が当たり前。)

2. **Cataloging rule** (カード目録の考え)からの脱却=利用者から見た書誌レコードの機能要件 (FRBR)に基づいた考え方の再構築 → 関連で表現するセマンティックWeb

3. **多様な媒体**への対応... → これまでの資料媒体ごとの構成の限界

11

インターネット社会での図書館の役割



Googleのミッションは、
実は図書館と同じ？

どこが違って、図書館でしか
できないことは何か？

ネット情報とは協働関係
例：HathiTrust

情報は整理して提供 v.s.
情報は利用者が選択、整理する

資料と、人々 (もしくは関係者) ・ ことがらを結びつける²⁾

12

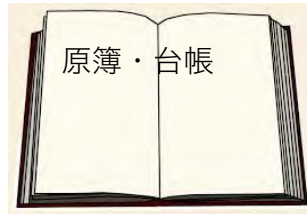
従来の「目録規則」のイメージ

現在のオンライン目録は、テキスト情報を直線的に表示したカード目録の電子バージョンにすぎない。1)

見出し語＝標目
アクセスポイント



記述



蔵書の在庫管理から
「パリ原則」(1961)へ

そして「国際目録規則」ICPへ(2009.2)

13

AACR2の枠組みの限界

第I部記述

- 序論
- 第1章記述総則
- 第2章図書,パンフレットおよび印刷した一枚もの
- 第3章地図資料
- 第4章手稿(手稿集を含む)
- 第5章楽譜
- 第6章録音物
- 第7章映画およびビデオ録画
- 第8章静止画像資料
- 第9章機械可読データファイル
- 第10章3次元工芸品・実物
- 第11章マイクロ資料
- 第12章逐次刊行物
- 第13章分注

第II部標目,統一タイトルおよび参照

- 序論
- 第21章アクセス・ポイントの選定
- ...



カード目録の閉じた世界

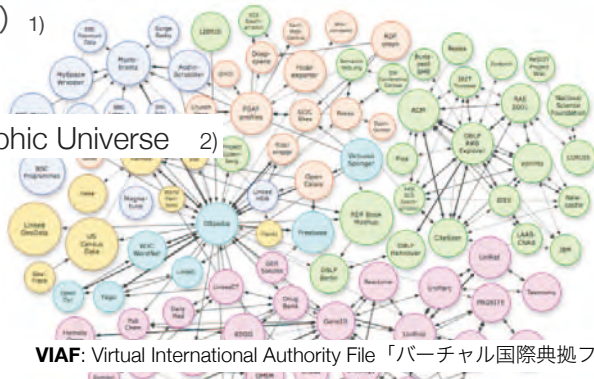
如何に的確な見出し語をたてるか

如何にカードに簡潔に
概要を押し込めるか

14

関連で表現するセマンティックWebのイメージ

我々が提供するメタデータは、出版履歴の時間的変遷、出版地を示す世界地図等のような、さらに興味深い視覚的情報の中に再編集することができるだろう (VIAFの視覚的表示を見よ) 1)



Bibliographic Universe 2)

VIAF: Virtual International Authority File 「バーチャル国際典拠ファイル」

15

「目録」のイメージを「書誌的宇宙」へと変換 2)

Bookと本文との関連
(HathiTrust,
NDLデジタルコレクション...)

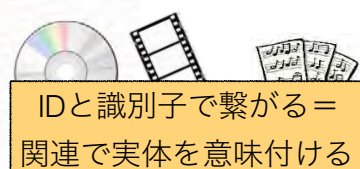
BookとArticlesの関連
前誌と後誌との関連

Bookと著者との関連
Bookと古典籍データとの関連

包括タイトルと
内容著作タイトルの関連



多様な情報キャリア



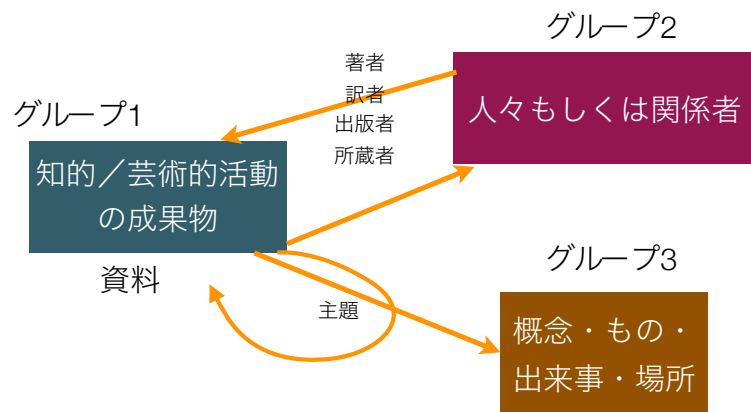
IDと識別子で繋がる＝
関連で実体を意味付ける



16

実体を概念化して捉える：FRBRの実体関連モデル

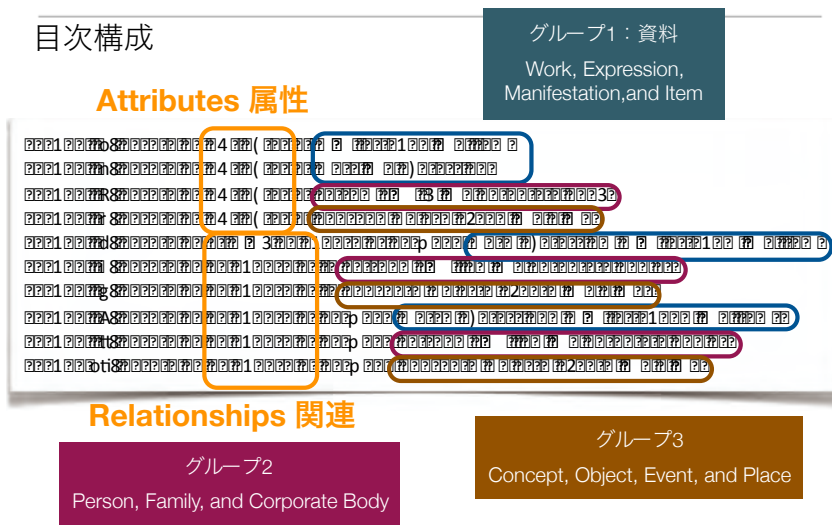
3つのグループ



17

実体を概念化して捉える：FRBRの実体関連モデル

目次構成



18

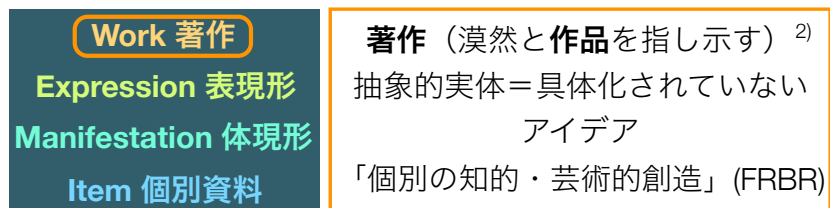
実体を概念化して捉える：Work

『ハリーポッター』って最後はどうなるんだっけ？

『吾輩は猫である』を読んだことある？

クイズです。『銀河鉄道の夜』の著者は誰でしょう。

グループ1

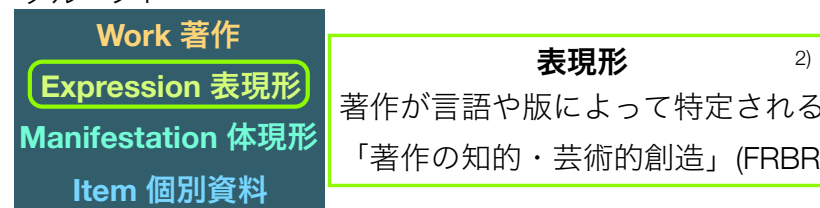


19

実体を概念化して捉える：Expression

『ハリーポッターと賢者の石』の日本語版 松岡祐子訳

グループ1

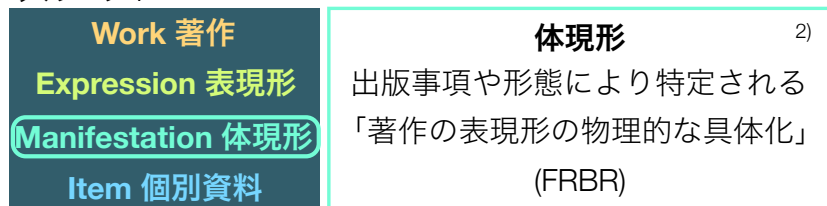


20

実体を概念化して捉える：Manifestation

『ハリーポッターと賢者の石』 静山社 1999年 462p 22cm

グループ1



21

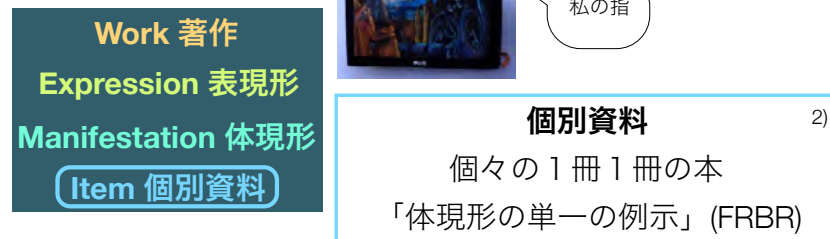
実体を概念化して捉える：Item



うちにあるこの本

私の指

グループ1

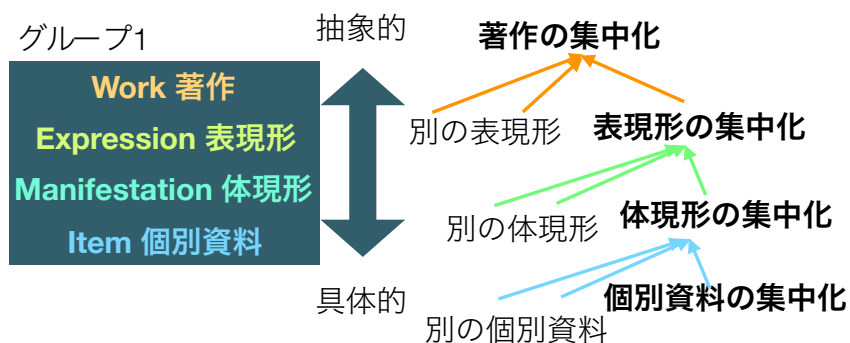


22

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化 ²⁾

自動的に継承することでカタログリングは楽になる

グループ1

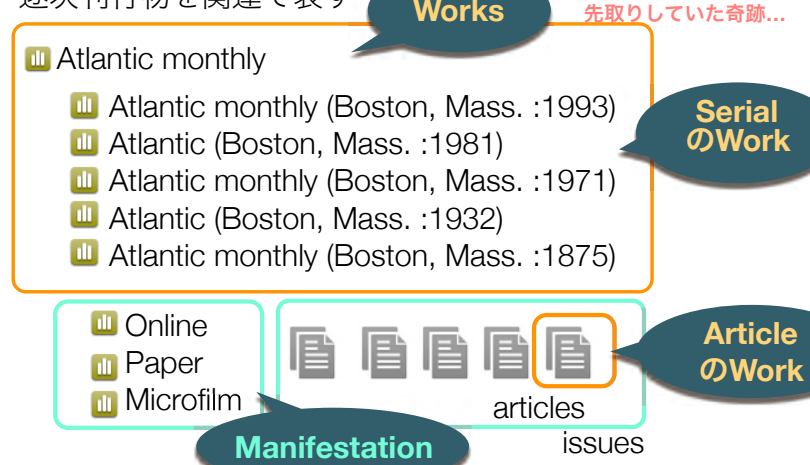


23

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(1)集中化 ²⁾

逐次刊行物を関連で表す

変遷マップ=30年前にRDAを先取りしていた奇跡...

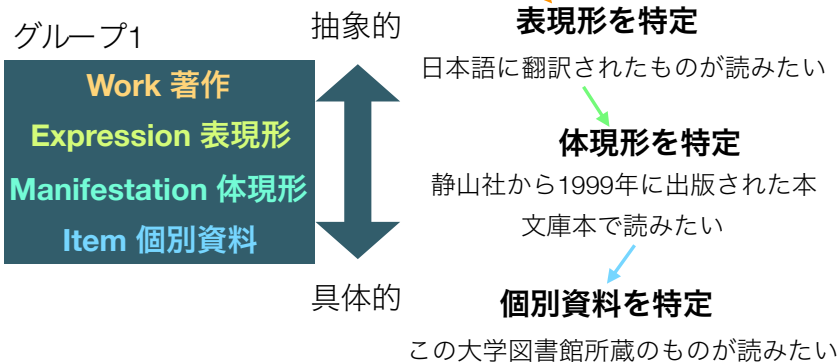


24

実体を概念化して捉える：FRBRの恩恵(2)貸出 ²⁾

著作を特定

J.K. Rowlingの『ハリーポッターと賢者の石』ならどれでもいい



25

RDAで目録業務はどう変わるか？

Thought bubbles contain the following text: '現状を継承しつつ変えていく' (Change while inheriting the current state), '考え方 目録の概念を変える' (Change the concept of cataloging), and 'もっと簡単に' (Even simpler). The main text states: '● 変わることが目的' (Change is the purpose) and '● でも、本質はたいして変わっていない' (But, the essence is not changing much). A blue box says: '相手=リソースは変わらないので、そこからメタデータを作成する作業としては変わり様がない' (Since the counterpart=resources are not changing, the work of creating metadata from them is not changing). An orange bubble asks: '本当に簡単になるの？' (Will it really become simpler?).

26

目録業務はどう変わるか？

Linked Open Data的

関連を重視，かつ共通の元素セットを使う
→Open metadata registry

The screenshot shows the 'open metadata registry' website. A yellow box highlights '閉じた図書館の視野から ネットを含めたグローバルな世界へ' (From the vision of closed libraries to a global world including the internet). A red box highlights '例) RDA Carrier Type' and another yellow box says 'もっと簡単に' (Even simpler). The table below shows details for RDA Carrier Type.

Preferred Label	URI	Updated
aperture card	...termList/RDACarrierType/1021	2017-07-29 16:43
audio belt	...termList/RDACarrierType/1070	2017-07-29 16:43
Audio carriers (Deprecated)	...termList/RDACarrierType/1001	2017-07-29 16:43
audio cartridge	...termList/RDACarrierType/1002	2017-07-29 16:43
audio cylinder	...termList/RDACarrierType/1003	Published 2017-07-29 16:43
audio disc	...termList/RDACarrierType/1004	Published 2017-07-29 16:43
audio roll	...termList/RDACarrierType/1006	Published 2017-07-29 16:43
audio wire reel	...termList/RDACarrierType/1071	Published 2017-07-29 16:43
audiocassette	...termList/RDACarrierType/1007	Published 2017-07-29 16:43
audiotape reel	...termList/RDACarrierType/1008	Published 2017-07-29 16:43

27

目録業務はどう変わるか？

要するに Shared data

The screenshot shows an announcement from CINI Books regarding the integration with the Virtual International Authority File (VIAF). A yellow box says 'CINI Booksにバーチャル国際典拠ファイル (VIAF) との連携機能追加のお知らせ' (Notice of added integration with VIAF). A red box highlights 'VIAFやISNI, ORCIDにも注目' (Also pay attention to VIAF, ISNI, and ORCID). Below it, text reads: '蔵川圭, 方法としての著者識別子 『情報の科学と技術』 67(2), p. 67-72, 2017.' (Kei Sugawara, Author Identifier as a Method, 'Information Science and Technology' 67(2), p. 67-72, 2017).

28

目録業務はどう変わるか？

転記=スキャン？

変わらない本質：情報源から必要な書誌的要素を転記し、構成する

より大事なのは関連

Access アクセス

Description 記述

Resource 資源・情報源

著者は3人まで
「Department ...」は省略

そのまま書いてある通りでいいよね。略語を覚える必要ない！

Bone digitalの時代

紙ベースの時代

転記の原則=30年前にRDAを先取りしていた奇跡...

29

どう変わるか

実はRDAはフォーマットを規定していない

ISBDの区切り記号や
MARC21フォーマット等

なら、何を規定しているのか

Goals: RDA will be...

- 記述とアクセスに関する基準
- 現在のデジタル世界に則したデザイン

30

どう変わるか: Goals of RDA

2)

- オンライン、ネットワーク環境でも適用できること
- すべての種類のメディアに対しても、効果的な書誌コントロールができること
- 図書館以外のコミュニティでの利用を促進すること
- 他の類似の基準との適用性があること
- 国際的に同意に達した原則に基づいた、論理的な構造をもつこと
- コンテンツとキャリアのデータを別にもてること
- ...

31

どう変わるか: 私のイメージ

ネット世界で共同

共同が重要

図書館の共同の役割

表現形

体現形

著作

人々もしくは関係者
VIAF/ORCID/ISNI
ISIL(図書館及び関連組織のための国際標準識別子)

概念・もの・出来事・場所
Wikipediaでもいいのでは？

個々の図書館の役割

個別資料

OPACの目的は個別資料の管理。
各館のディスカバリーもいらない。

32



2.RDAのメガネをかけて
NACSIS-CATを見る

33

RDAのメガネをかけてNACSIS-CATを見る

30年前にRDAを先取りしていた奇跡...

◆FRBRの概念との類似点 (TXTL:und)

- 個別資料と体现形, 著作を定義
- 内容著作注記 (CW) と親書誌タイトル(PTBL)
- 転記の原則のAACR2例外の例外 (TR, PUB)

◆リンク構造と変遷マップ



34

書誌単位の捉え方

物理単位 = 「個別資料」を定義

解説 (物理単位, 出版物理単位, 書誌単位)

個々の資料の単位, すなわち, 破損しない限り一まとりのものを**物理単位**と呼ぶ。この意味では, ある図書館の資料と別の図書館の資料, それぞれの資料の複本等は, 全て別の物理単位である。各参加組織のシステム, 特に閲覧, 貸出等のサブシステムにおいては, 物理単位の管理が問題となる。

しかし, 総合目録データベースという共有情報のレベルでは, 物理単位の情報をも保持した上で管理することは, 効率的ではない。

そこで, 物理単位の集まりを「複本」としてグループ化し, **出版物理単位**にまとめる。これにより, ある図書館の資料と別の図書館の資料, また, それぞれの複本同士は同一の出版物理単位として捉えることが可能になる。一方, ある資料の上巻と下巻は, 別の出版物理単位として捉えられる。

出版物理単位は「体现形」

書誌単位は, 同一の固有のタイトル等によってまとめられる**出版物理単位の集合**である。物理的に1冊の単行資料の場合, 書誌単位は出版物理単位と一致する。同一の固有のタイトルを有する上巻, 下巻の出版物理単位の集合は, 書誌単位である。

35

著作の捉え方とFRBRの実体

なお, **著作**のタイトルは, 一般的には書誌単位の**固有のタイトル**とは別のものであり, 区別する必要がある。

一つの書誌単位には複数の著作が含まれることがあるし, 一つの著作が複数の書誌単位に分かれることがある。

著作

30年前に「著作」という実体を考えていた!

単行書誌単位は**体现形**

記述対象は次の2種類

- 単行書誌単位
- 集合書誌単位

物理単位 = **個別資料**を定義

共有情報のレベルでは, 物理単位の情報をも保持した上で管理することは, 効率的ではない。

→所蔵レコードに記述する

36

内容著作注記CWと親書誌タイトルPTBL

4.2.6C (フィールド内容とデータ要素)

C1 CWフィールドには、**構成部分である著作単位**について、巻冊次、

タイ **RDA 2.3.2.6 Collective Title and Titles of Individual Contents** 集合タイトルと個別コンテンツタイトル

Record collective titles and titles of individual contents as appropriate to the type of description:

comprehensive description (see 2.3.2.6.1) 包括的記述

or

analytical description (see 2.3.2.6.2). 分析的記述

2.3.2.6.1 Comprehensive Description

If: Record the titles of the individual contents as the titles of **related manifestations** (see 27.1), if considered important for identification or access. 識別またはアクセスに重要と考えられる場合は、個々のコンテンツのタイトルを関連する表現形のタイトル (27.1を参照) として記録する。

collective title and the titles of individual contents within the resource then: record the collective title as the title proper.

37

転記の原則の例外の例外 TR

4.2.1F (データ記入及び記入例) F1(本タイトル)

本タイトルとなるものは、「基準」で規定されている「固有のタイトル」である。

本タイトルの記録に際しては、次のF1.1～F1.5に示す例外を除き、AACR2の規則1.1B及び2.1Bに準拠する。

カードの時代は省略するのが簡単

F1.2

本タイトルが長い場合でも、システム上の不都合(フィールド長不足等)が生じない限りは、**原則として本タイトルの短縮は行わない。** やむを得ず短縮を行う場合は、その部分を省略符号で示し、短縮した内容をNOTEフィールドに記録する。(→ AACR2 1.1B4)

デジタル化の時代は省略しないのが簡単

1.1B4.長い本タイトルは、不可欠な情報を損なわない場合に

RDA 2.3.1.4 Recording Titles

Transcribe a title as it appears on the source of information (see 1.7).

38

転記の原則 TR

岡田智佳子. デジタル資源の活用を進め社会的学問的ニーズを満たす
目録としてのRDA (Resource Description & Access)の可能性について
— 東京大学経済学部資料室所蔵アダム・スミス文庫
NACSIS-CAT 書誌レコード修正作業を通して

東京大学経済学部資料室年報 7 (2017.3刊行)

“古い西洋の資料ゆえ、標題紙上の情報量が多すぎて、どこまでが本タイトルでどこからがタイトル関連情報なのか、記述要素の切り分けに苦慮した部分はあったものの、全体としてNACSIS-CATのデータ長の制限を超える文字数のものではありませんでした。”

39

転記の原則の例外の例外 PUB

F3 (出版者・頒布者等)

F3.4

出版者・頒布者等の記録の方法に関しては、AACR2の規則1.4D2,1.4D3及び1.4D4に準拠する。ただし、日本語版刊行後の改訂で1.4D2の第3段落として追加された任意規定は採用しない。

また、1.4D4の規定のうち、**団体名を短縮形で記録するという部分については、検索上支障を来すおそれがあるため、原則として採用しない。**

RDA 2.8.4.1 Recording Publication Statements

Record a publication statement or statements for a published resource. **Transcribe places of publication and publishers' names as they appear on the source of information** (see 1.7).

Record dates of publication as they appear on the source of information. Apply the **general guidelines on transcription** for words that are not numbers (see 1.7).

40

NACSIS-CATのリンク構造と変遷マップ

もしかすると、世界で最初にRDAの理念を実現できるかも...

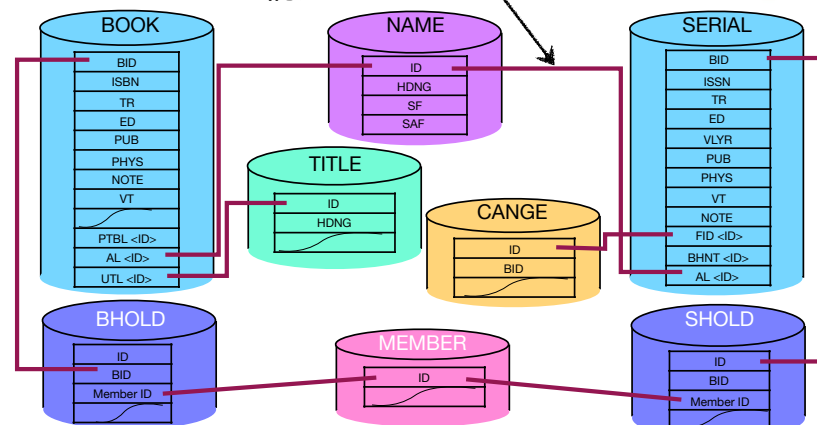
2013.10.18. IAAAL ティレットさんを囲む会でのプレゼン資料



RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

NACSIS-CAT
データベース構造

リンク関係



RDAのメガネをかけてNACSIS-CATをみると

雑誌変遷マップの例

雑誌変遷マップ表示

Continuation Absorption Separation

FID:20051500 継続 吸収 派生

検索結果 13 件

1. <AA00039839> The Atlantic monthly : a magazine of literature, science, art, and politics. -- Vol. 1, no. 1 (Nov. 1857)-.
2. <AA11076746> The Critic. -- Vol. 1, no. 1 (Jan. 1881)-v. 4, no. 98 (Jan. 1884).
3. <AA11061727> The Atlantic. -- v. 227, no. 6 (June 1971).
4. <AA00126274> Critic and good literature.
5. <AA11061738> The Atlantic monthly. -- Vol. 228, no. 1 (July 1971)-v. 247, no. 3 (Mar. 1981).
6. <AA0012630X> The Critic. New series : a weekly review of literature, art and life.
7. <AA10628166> The Atlantic. -- Vol. 247, no. 4 (Apr. 1981)-v. 272, no. 4 (Oct. 1993).
8. <AA00348072> Putnam's monthly and the critic : a magazine of literature, art, and life. -- 1 (1906)-.
9. <AA10990899> The Atlantic monthly. -- Vol. 272, no. 5 (Nov. 1993)-v. 292, no. 5 (Dec. 2003).
10. <AA00348061> Putnam's monthly. -- 1 (1907)-3 (1908).
11. <AA11945095> The Atlantic. -- Vol. 293, no. 1 (Jan./Feb. 2004)-.
12. <AA00348083> Putnam's monthly and the reader. -- 3 (1908)-5 (1909).
13. <AA00348039> Putnam's magazine. -- 5 (1909)-7 (1909/1910).

NACSIS-CATをRDAに重ねてみる...

The diagram shows NACSIS-CAT records for 'The Atlantic' and 'The Critic' overlaid with RDA entities. Callouts in speech bubbles ask questions: '著作?' (Author?), '体現形インスタンス?' (Instance type?), '個別資料' (Individual item), 'FRBR 2グループ?' (FRBR 2 groups?), and '著作' (Author). A cartoon character with glasses is in the top right corner.

RDAのメガネをかけてCiNiiをみると

Annotations in the screenshot:

- Red arrow from 'Title proper' to 'Anne of Green Gables'.
- Red arrow from 'Statement of responsibility relating to title proper' to 'by L. M. Montgomery, illustrated by M. A. and W. A. J. Claus'.
- Red arrow from 'Edition statement' to 'L. C. Page, 1908'.
- Red arrow from 'Carrier type' to '電子リリースにアクセスする 全1冊'.
- Red arrow from 'Form of work' to 'Anne of Green Gables, by L.M. Montgomery, illustrated by M.A. and W.A.J. Claus ... 1908'.
- Red arrow from 'Manifestation record' to 'Anne of Green Gables, by L.M. Montgomery, illustrated by M.A. and W.A.J. Claus ... 1908'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, L. M. (Lucy Maud)'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, Lucy Maud, 1874-1942'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, L.M. 1874-1942'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, L. M. (Lucy Maud)'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Lucy Maud Montgomery Canadian fiction writer'.
- Red arrow from 'Work record' to '1874-1942, no tob. *0000000'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, Lucy M., 1874-1942'.
- Red arrow from 'Work record' to 'Montgomery, Lucy Maud'.
- Red arrow from 'Work record' to '1942-1874, مونتغمري, ل. م.'

3.RDAの実装 Bibliographic Universe

RDA採用の動向

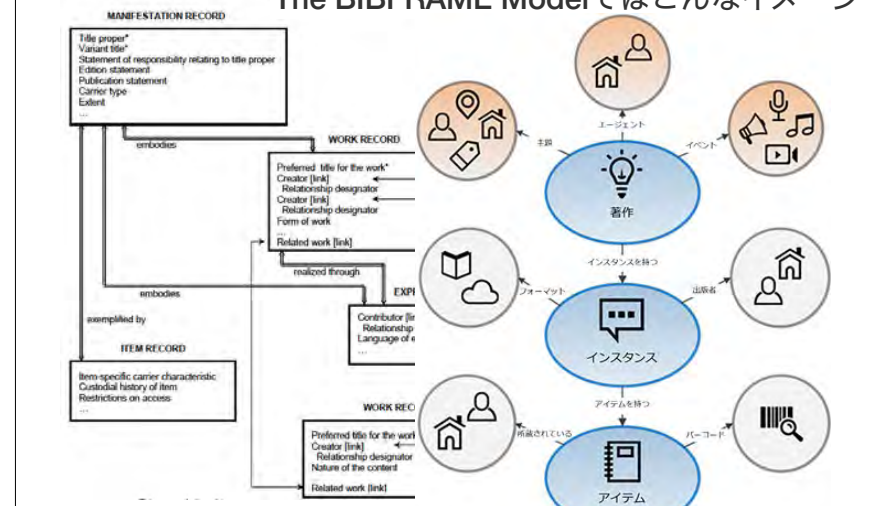
<http://www.rdatoolkit.org/>

Annotations in the screenshot:

- Red box around 'RDA Implementation: As of April 1, 2013 the U.S. Library of Congress and the British Library are using RDA as their official descriptive cataloging standard. Read the announcements from the Library of Congress and the British Library. Click here to follow who has implemented RDA or has plans for implementation.'
- Red box around 'Presently there are five ongoing translations of RDA--Chinese, French, German, and Spanish. Follow the links below to learn more about the goals and progress of each translation project.'
- Red box around the list of translations: Chinese, Finnish, French, German, Italian, Spanish.
- Red box around 'RDA Examples' in the navigation menu.
- Red box around 'RDA in Translation' in the navigation menu.

関係をリンクで表現：シナリオでは...

The BIBFRAME Modelではこんなイメージ



実装の動き:

LCのBIBFRAME試行プロジェクト (ALA Annual 2017)

1700万の書誌レコードをBIBFRAMEのWork, Instance, Itemsに変換: LC

WorldCat workを作成: OCLC Alignment with BIBFRAME

BIBFRAME Work

OCLC Work

OCLC Expression

OCLC Manifestation

OCLC Item

BIBFRAME Instance

BIBFRAME Item

RDA/RDF/Schema.org

CINii Books - メタデータ・API - CINii Books 図書・雑誌情報のRDF

目次

- CINii Books図書・雑誌RDFのフォーマット仕様について
- フォーマット仕様
 - 図書雑誌RDF
 - 雑誌雑誌RDF
- 索引履歴

CINii Books図書・雑誌RDFのフォーマット仕様について

以下の書式のURLにアクセスすると、RDF/XML形式のデータを取得できます。取得できる情報は「CINii Books 図書・雑誌情報のJSON-LD」と同様です。図書と雑誌でフォーマットが異なります。

http://ci.nii.ac.jp/ncid/<ncid>.rdf (例: http://ci.nii.ac.jp/ncid/B808796640.rdf)

コンテンツネゴシエーションに対応しています。RDFのURIを指定しなくても、HTTPヘッダから判断してRDFを返します。図書・雑誌詳細表示画面 (例: http://ci.nii.ac.jp/ncid/B808796640) において、HTTPリクエストヘッダのAcceptフィールドにて「application/rdf+xml」の指定が他のどの指定よりも優先度が高い場合には、RDFのURIへ誘導します。

レスポンスの類のhttpヘッダに「Access-Control-Allow-Origin: *」を指定していますので、クロスドメイン間での非同期通信をご利用いただけます。

最後に...

RDA Toolkit

- RDAとNACSIS-CATの親和性
- 成長する有機体 (2020がゴールではない)

RDA Toolkit

2016 UPDATE SUMMARY

The table below lists all the significant revisions to RDA content made by the RDA Steering Committee included in the April 2016 release of RDA Toolkit. The table includes the RDA instruction number of the content that has changed and a brief description of the change that was made. At the end of the description are links to the archived instructions that were impacted by the update, and in some cases links to earlier revisions to the referenced instruction. The Instruction Archive for each update contains the full text of RDA as it existed prior to the release date stated above.

RDA	Change in April 2016 Update
0.6.7 RDA	Updated paragraph "Associated institutions (for conferences, etc. ...)" 2016/04
1.7.3 RDA	Added Alternative
1.7.5 RDA	Added Alternative
2.3.2.11 RDA	Revised instruction and examples 2016/04
2.4.2.2 RDA	Revised instruction 2016/04
2.4.2.3 RDA	Revised instruction and added new last example
2.12.1.6.1 RDA	Updated reference 2016/04

年に数回更新されている = 目録規則も冊子よりToolkitの時代

おまけ

<http://www.rdatoolkit.org/>

使ってみて

RDA Toolkit

HOME SUBSCRIBE NEWS & INFORMATION TRAINING RESOURCES RDA IN TRANSLATION SHOP RDA MORE RESOURCES

Access RDA Toolkit

Free Trial

RSC RDA Steering Committee

RDA and the RSC coming to Madrid

By Jennally August 28, 2017 - 14:45 Posted in News & Information